

令和2年度

避難指示解除区域等の林業再生に向けた  
普及啓発事業

報告書

令和3年3月

林野庁



# 令和2年度 避難指示解除区域等の林業再生に向けた普及啓発事業 報告書

## 目次

1. 事業の目的	1
2. 実施内容	1
(1) パンフレットの作成	1
(2) シンポジウム、出前講座の開催・運営	1
3. 普及啓発パンフレットの作成	2
(1) パンフレットの作成	2
1) 記載内容の概要	2
2) 配付方法等	3
3) 企画・制作改善	4
4. シンポジウム、出前講座の開催・運営	5
(1) シンポジウムの開催・運営	5
1) 実施概要	5
①目的 ②開催日時及び場所 ③募集方法 ④ライブ配信アーカイブの掲載 ⑤プログラム	
⑥動画コンテンツ一覧 ⑦Twitterを活用した情報発信	
2) 実施状況	14
①参加者数(実績) ②プログラム概要 ③質疑応答概要 ④記録写真	
3) 参加者アンケート集計結果	25
4) 参加者アンケート集計考察	34
5) 企画・運営改善	38
6) 小括	46
(2) 出前講座の開催・運営	50
1) 実施概要	50
①目的 ②対象団体との調整方法	
2) 実施状況	50
3) 受講生アンケート集計結果	54
4) 受講生アンケート集計考察	55
5) 企画・運営改善	56
6) 小括	57
5. 総括	59
参考資料	64
参考資料1 講師等・関係者名簿	64
参考資料2 アンケート様式	66

## 1. 事業の目的

東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の影響を受けた地域では、避難住民の帰還に向けて除染等が行われ、令和2年3月までに、帰還困難区域を除き、避難指示が解除されたところである。

これらの地域は森林が大半を占めており、地域の基幹産業の一つとして林業が営まれてきたが、事故後、森林の整備や林業生産活動が停滞していることから、地域の復興を進める上で、林業の再生を図る必要がある。

また、福島県内と県外に関わらず、根強い風評や関心風化の問題があり、平成29年12月に復興庁が策定した「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」では、政府一体となって風評払拭に取り組むと共に放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭を図るための工夫を凝らした情報発信を行うこととされ、本事業もこの戦略に位置づけされている。

本事業は、こうした情勢を踏まえ、福島における森林の現状や、幅広い関係者の参画・連携の下で行われている福島の森林・林業の再生に向けた取組等への理解を深めるため、森林における放射性物質の調査・研究や林業再生に向けた取組等に関する最新の知見等や成果を整理し、それらを分かりやすくかつ正確に地域住民や森林所有者、行政関係者、一般市民及びマスコミ等に幅広く伝えるための普及啓発を行う。

## 2. 実施内容

森林・木材への放射性物質の影響や今後の見通し、林業再生をより進めるための放射性物質対策の成果、林業・木材産業・特用林産物生産を巡る動向や里山再生に向けた取組などについて、前年度の成果及び課題、それに対応した改善点等を踏まえた普及啓発を行う。

なお、本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出前講座は実施機会を厳選し、また、シンポジウムは例年の会場での実施ではなくオンライン・ライブ配信及び動画コンテンツ配信とし、出前講座及びライブ配信の当日も対策を徹底した上で実施する。

### (1)パンフレットの作成

これまでの調査・研究等で明らかになった森林の放射性物質対策等の情報を、分かりやすく再構成・表現したパンフレットについて、過年度事業における疑問や質問に対応する内容を再整理し、避難指示解除区域等の関係者等に配布する。

### (2)シンポジウム、出前講座の開催・運営

シンポジウム、出前講座の実施により林業関係者、地元住民、地域関係者、福島県内・県外の一般市民等への積極的かつ効果的な普及啓発を行う。「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」の考えに基づき、児童生徒、児童生徒の保護者等を主な対象者として設定し、対象者が「楽しめる」、「興味を持てる」プログラム設計を心がける。

### 3. 普及啓発パンフレットの作成

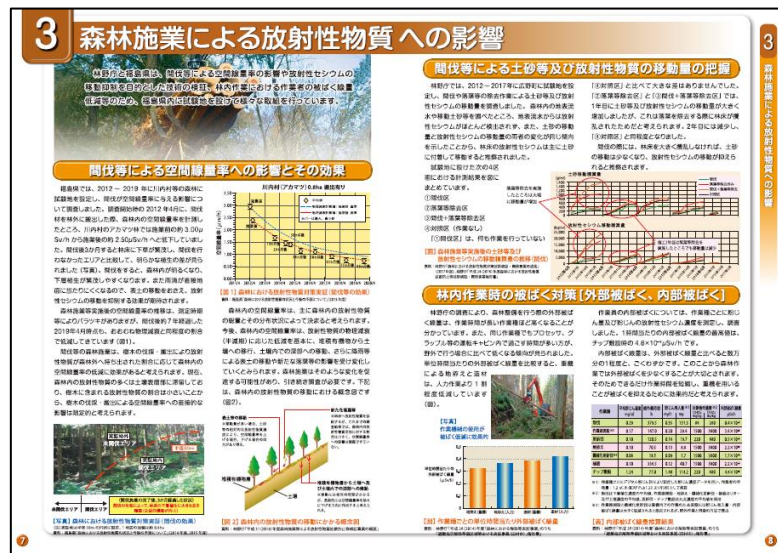
#### (1)パンフレットの作成

##### 1)記載内容の概要

森林及び林産物に関わる放射性物質の現状、影響に関する調査・研究は、震災後、国・県を中心に継続的に取り組まれている。また、放射線量低減に向けた実証事業の成果、木材・特用林産物の放射性物質対策においてもその成果がまとめられている。

本パンフレットは、国や大学等の調査研究結果、主にプレスリリース等公表された情報、一定の評価が定まっている情報を抽出・整理した全20頁の冊子を、体系的に、かつ平易な誤解の生じない表現で解説し、避難指示区域等関係者がもっとも知りたい情報が得られる機能を持たせることで、対象者の理解を図るものである。

平成26～31年度の本事業で実施したシンポジウム、講習会、実証事業報告会、展示等において、参加者に行ったアンケート結果、要望等を元に、対象者がもっとも知りたいと感じている項目を洗い出し、これらを中心に構成した。



内容：

タイトル「放射線物質の現状と森林・林業の再生 令和2(2020)年度版」

目次(全20頁)

1章 福島県における空間線量率の現状(2～3頁)

航空機モニタリングによる空間線量率の経年変化

今後の空間線量率の分布予測

世界と福島県内の空間線量率の比較

2章 森林における放射性物質の動態(4～6頁)

森林生態系における放射性物質の動態

樹木の部位別放射性物質濃度の分布状況

スギ花粉の放射性物質

渓流水や飲用沢水における放射性物質の影響

## 【コラム】チェルノブイリ原子力発電所事故から得られている主な知見

### 3章 森林施業による放射性物質への影響（7～8頁）

間伐等による空間線量率への影響とその効果

間伐等による土砂等及び放射性物質の移動量の把握

林内作業時の被ばく対策〔外部被ばく、内部被ばく〕

### 4章 木材の利用促進に向けた安全対策（9～10頁）

安全な木材製品等を供給するための体制づくり

製材工場等に滞留する樹皮（バーク）の処理対策

木材で囲まれた居室を想定した場合の被ばく試算

### 5章 安全なきのこ等特用林産物の供給（11～13頁）

きのこ等特用林産物の出荷制限、解除の状況

安全なきのこの出荷に向けた取組

きのこ・山菜の放射性物質のモニタリング

原木林の再生対策

きのこ原木の安定供給

### 6章 森林・林業の再生に向けた具体的な取組（14～15頁）

里山再生事業（里山再生モデル事業）

森林整備とその実施に必要な放射性物質対策（ふくしま森林再生事業）

林業再生に向けた実証事業

### 参考資料（16～18頁）

放射性物質の基礎資料

・放射線、放射能、放射性物質の違い

・放射性物質の半減期

・身の回りの放射線

### 【避難指示区域の指定状況等】

参考指標

・データ1 様々な基準・指標（きのこ等の基準値、きのこ原木・薪・木炭・ペレット等の当面の指標値）

・データ2 作業安全ガイド（除染特別地域等の森林での作業と放射線量の基準）

## 2) 配布方法等

5,000部作成し、福島県、福島県出先事務所、福島県内の全市町村、森林組合、森林管理局・署のほか、林業関係団体など約110の機関・団体へ配布し、さらにシンポジウムのアンケート回答者に配布した。また、林野庁及び福島県のウェブサイトにおいて掲載した。

### 3) 企画・制作改善

制作に関わった関係者の意見等を踏まえ、成果、問題点、改善方法案を取りまとめた。

成 果	
<ul style="list-style-type: none"><li>・福島県等の一般市民等を対象に、森林における放射性物質の影響等について、分かりやすく正確な情報を提供することを目的に、知見や研究成果を情報収集し、パンフレットを作成した。</li><li>・正確な情報を伝えるために、「行政機関、研究機関等（国内外）から公表された情報を専ら扱う」「根拠資料に基づく正確な記述を心がけ、対象者の誤解を招く表現を避ける」ことを編集方針とした。</li><li>・前回制作のパンフレットに掲載されていた「森林内に生息する小型ほ乳類の放射性物質の影響」は掲載しないこととした。その理由は、最新の報告書では調査結果が顕著なミミズの記述がなくなっており、ノネズミの調査結果は地域によってばらつきがあり、結果が曖昧なためである。また「スギ雄花中の放射性物質濃度の調査」について掲載した。</li><li>・編集の段取りの調整を早い段階で行うことで、昨年度よりもスムーズに校正作業を進めることができた。</li><li>・配布部数を5,000部とし、広く対象者の手元に届けることができた。</li></ul>	
問題点	改善方法案
校正の最終段階で、データの誤りが発見された。	パンフレット編集の各工程で細かな段取りの確認をし、複数者で丁寧な確認作業が行えるよう、スケジュールやチェック体制を整える。

## 4. シンポジウム、出前講座の開催・運営

### (1) シンポジウムの開催・運営

#### 「福島の森と木の親子体験オンライン教室」

##### 1) 実施概要

###### ① 目的

昨年度に続き、子ども（小学校中学年では放射性物質についての理解が難しいとの昨年度の反省点を踏まえ、小学校中学年以上から小学校高学年以上に変更）とその保護者を主な対象者として実施する。放射性物質の現状、挙動予測についての分かりやすい解説に加え、キノコ収穫体験と木工体験等を通して木や林産物に親しみながら福島の森林の現状・放射性物質等について親子が楽しく学習できる内容とする。

これにより、次世代を担う若年層（子ども及びその保護者）が、福島の森・木・林産物の魅力や現状を知って、共感することで、福島県の森林・林業再生に貢献する何らかの行動に繋がることを目指す。

###### ② 開催日時及び配信場所

本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年の会場での実施ではなくオンライン・ライブ配信及び事前・事後の動画コンテンツ配信にてシンポジウムを実施した。

日時：令和2年12月20日（日）14:00～15:30

配信場所：港区エコプラザ ラーニングルーム（東京都港区浜松町1丁目13-1）

###### ③ 募集方法

募集定員は親子500組1000名とし、ポスター及びチラシを作成し、福島県出先事務所、福島県内の全市町村、森林組合、森林・林業関係団体、森林管理署に加え、東京都内の森林・林業関係団体等、約180か所に配布・周知した。さらに、福島市及び港区の協力を得て、福島市と港区内の全小学校68校の小学校5、6年生に配布・周知した。また、インターネット上（林野庁 Facebook、全林協 Facebook、東京おもちゃ美術館ホームページ及び Facebook、フォレスト・サポーターズ Facebook）で告知を行った。申し込みはインターネット、電話、郵送及びFAXで受け付けた。

その他、全林協のシンポジウム事務局 Twitter を開設し、シンポジウムの周知を行った。





ポスター・チラシ

全国林業改良普及協会ウェブサイトでの告知（部分表示）

#### ④ライブ配信アーカイブの掲載

シンポジウム実施後、農林水産省公式 YouTube 「maffchannel」内の再生リスト『福島のもり応援隊動画』にアーカイブ動画を掲載した。



農林水産省公式 YouTube 「maffchannel」でのアーカイブ掲載（部分表示）

⑤プログラム

令和2年度 福島の森林・林業再生に向けたシンポジウム プログラム  
**福島の森と木の親子体験オンライン教室**

ライブ配信日:12/20(日)  
 ライブ配信場所:港区エコプラザ(東京都港区浜松町1-13-1)  
 対象者(キノコ・木工体験用キットを事前送付する者):500組の親子(小学校高学年以上を推奨)


動画配信 (シンポジウム前)	ライブ配信(14:00~15:30) ※参加者限定公開										動画配信 (シンポジウム後)		
	①	②											
時間	14:00	14:35	14:40	14:55	15:05	15:15	15:25						
(内訳)	20分	35分		40分				10分					20分
プログラム	<p>【福島の森のハカセになろう!】</p> <p>1. 放射線ってどんなもの?</p> <p>現在の空気中の放射線量測定</p> <p>・霧箱実験 (講師:北、聞き手: Youtuber)</p>	<p>【冒頭】</p> <p>挨拶(林野庁等)、震災後10年目の、福島の森、その恵みの意味</p> <p>(動画・あたり、YouTuber 挨拶)</p>	<p>【福島の森のハカセになろう!】</p> <p>2. 福島の森、今どうなっているの?】</p> <p>・木材、土、葉の放射線量測定実験 (講師:森林総研、聞き手: Youtuber)</p>	<p>・質問コーナー(講師、Youtuber)</p> <p>・体観(視聴者各家庭でなめこ園床準備)</p>	<p>【森のめぐみ収穫体験~しいたけ&amp;なめこの不思議~】</p> <p>・しいたけミニ講義(育ち方等)</p> <p>・収穫体験(渡邊・(鈴木、Youtuber)</p>	<p>【森のめぐみ収穫体験~しいたけ&amp;なめこの不思議~】</p> <p>・しいたけミニ講義(育ち方等)</p> <p>・収穫体験(渡邊・(鈴木、Youtuber)</p>	<p>【森に親しもう!】</p> <p>・福島県内で森や木と触れ合える施設紹介</p> <p>・木工キット説明(事前送付したキットを直すのひ)</p> <p>・事後の配信動画案内 (あだたら、Youtuber)</p>	<p>【森に親しもう!】</p> <p>・福島県内で森や木と触れ合える施設紹介</p> <p>・木工キット説明(事前送付したキットを直すのひ)</p> <p>・事後の配信動画案内 (あだたら、Youtuber)</p>	<p>【福島のきのこ】</p> <p>・きのこ収穫後の育て方</p> <p>・講師の各社ではどんな風に栽培や出荷している?、おすすめきのこの料理等の話 (キノコ生産者)</p>	<p>【福島のきのこ】</p> <p>・きのこ収穫後の育て方</p> <p>・講師の各社ではどんな風に栽培や出荷している?、おすすめきのこの料理等の話 (キノコ生産者)</p>			

## ⑥動画コンテンツ一覧

農林水産省公式YouTube「maffchannel」内に再生リスト「福島のもり応援隊」を作成し、動画を公開した。

放射線に関する事前学習や木工キット制作の手順、ナメコ栽培キットの栽培方法等、ライブ配信に関連した動画のほか、キノコの生産現場潜入や生産者インタビュー、YouTuberの林業体験や木材市場の見学等、福島県の林業・林産物をアピールする動画を制作した。またライブ配信のアーカイブも公開し、当日の参加者以外にも視聴可能とした。

福島のもりと、森の恵みを守りたい	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後 (ライブ配信時にも一部再生)	   

放射線ってどんなもの？	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信前 (参加者は必ず視聴するよう通知)	   

## 福島の森と木の親子体験オンライン教室 前編・後編

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	

## 森に親しむ～福島県おススメの施設・森の遊び～

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	

## 家で作ろう！ 木エクラフト

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後 (参加者は場合により 配信前の制作も可とした)	

## ナメコ栽培キット2回目からの育て方

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了直後	

## 福島のキノコ生産現場へ潜入！ーしいたけ編ー

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後 (ライブ配信時にも一部再生)	

## 福島のキノコ生産者インタビューーしいたけ編ー

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	

福島キノコ生産現場へ潜入！ーなめこ編ー	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後 (ライブ配信時にも一部再生)	   

福島キノコ生産者インタビューーなめこ編ー	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	 

福島森～木の生産現場へ潜入！ー林業現場+木材市場（製材）編ー	
配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	   

福島県の森～木の生産現場人インタビュー 林業現場+木材市場（製材）編ー

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	

すしらーめん《りく》さん、“木”を知る旅 林業現場編【学びタイム!】【体験タイム!】、番外編（木材市場） in 福島

配信タイミング	動画キャプチャ
ライブ配信終了後	

⑦Twitter を活用した情報発信

Twitter アカウントを作成し、事務局が育てているナメコ栽培キットやシイタケ・ヒラタケ・エリンギ菌床の生育状況等を随時更新した。ライブ配信参加者が事前に育てているナメコについて質問等も受け付けフォローアップすると共に、参加者が各自育てたナメコの様子や作成した木工オーナメントの画像を共有するなどした。



▲事務局アカウント



▲参加者からのナメコ栽培に関する質問に回答



▲参加者からナメコの栽培状況の投稿



▲参加者から木工オーナメントの投稿